

活動名 カンナがつなぐ 平和のバトン —カンナ プロジェクト	団体名	広島市立大州小学校 カンナプロジェクト
	地域	広島県広島市
	代表者	教頭 増田 紀美
	支援金額	20 万円
活動概要		
<p>被爆後 75 年間は草木も生えないだろうといわれた広島に、わずか 1 ヶ月後に咲いたといわれるカンナの花を、自分たちの町に植えることを通して、平和について考え、行動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大州小学校からマツダスタジアムまでの道沿いにカンナの花を植え、「カンナロード」をつくり、世話をする。 ・カンナの球根を育て、増やしていく。 -平和集会・参観日・平和マラソン・歌などを通して、この活動を広める。 <p>◆実施時期 2013 年度～3 年計画</p> <p>◆参加人数</p> <ol style="list-style-type: none"> ①平和記念資料館派遣講師の講話聴講、「こどもピースサミット 2015」作文執筆。(4 月 28 日) : 六年生 62 名 教員 4 名 ②女学院大学三柘正典先生作詞作曲「育てよう 咲かせよう 届けよう」歌練習開始 : 六年生 62 名 教員 4 名 ③俳句づくり、カンナTシャツ図案を考える (5 月下旬～) : 六年生 62 名 ④学校花だん、カンナの植え付け (5 月 25 日) : 六年生 62 名 教員 4 名 ⑤大州街道沿いの会社・店などに今年度のお願い (7 月 2 日) : 六年生 62 名 教員 4 名地域・保護者の方 ⑥平和集会 (7 月 6 日) : 全校児童 教員 ⑦「キャッチボールクラシック」参加 (7 月 18 日) : 6 年生 12 名 ⑧広島国際平和マラソン参加 (11 月 3 日) : 6 年生 56 名 1 年生 2 名 教職員他 10 名 ⑨越冬の世話 (12 月下旬～) : 6 年生 62 名 教員 4 名 ⑩大州街道沿いの会社・店などに三年間のお礼と来年度からのお願い。 : 6 年生 62 名 教員 3 名 ⑪カンナロードプロジェクト引継ぎ式 (3 月) : 6 年生 62 名 5 年生 41 名 教員 5 名 <p style="text-align: right;">参加総人員 947 名</p>		



三柘先生に作って頂いた「育てよう 咲かせよう 届けよう」の歌を練習



地域の方々とカンナの手入れをしました



平和集会で「カンナロードプロジェクト」の取り組みを発表



「ひろしま国際平和マラソン」に参加

◆実施に伴う効果

- ・児童が、「自分たちにできる平和への活動」として取り組むことができた。
- ・大州小学校の伝統として、先輩から引き継いだものを継続し、広げることができた。
- ・地域の方に、カンナの花のことや、子どもたちの取り組みを理解して頂き、来年度からも引き続き地域でカンナを育ててくださるなど、たくさんの協力を得ることができた。
- ・保護者を通して校区外の方にも取り組みを理解して頂き、カンナを育ててくださることになった。

◆苦勞した点

- ・屋外での活動のため、熱中症対策が必要だった。マツダスタジアムの方々にお世話になりました。ありがとうございました。
- ・プロジェクトに賛同してくださる方を新規に多く増やすことができなかった。
- ・来年度の予算（カンナTシャツ・・・）

◆今後の課題・発展の方向性

- ・3年計画「カンナロードプロジェクト」は今年度で終了。今後は「カンナプロジェクト」としての取り組みを計画していく。
- ・校内のカンナを育て、増やしていく。

◆活動を終えての感想・意見等

3年計画「カンナロードプロジェクト」の3年目を迎えた今年度も、継続してマツダ財団からのご支援をいただくことができました。

このプロジェクトでご協力いただいている地域の方々と接することで、自分たちの活動が地域に発信されていることを肌で感じることができました。また、マツダスタジアムに咲くカンナを見る市外・県外の多くの人々にも、平和について考えてもらえるきっかけになってほしいと思います。子どもたちがこれまでに平和学習で学んできたことを、具体的な活動を通して発信していくよい機会となりました。これからも、広島に育った子どもとして、平和について自分の考えをもち、行動していくことのできる人になってほしいと思います。